

当院外科では現状2人体制での診療を行っている。

外来診療は週3回であり、乳腺外来も同時に行っている。

年間手術症例は全身麻酔が29例、腰椎麻酔が19例、局所麻酔4例であり、前年度より全身麻酔17例減少し、腰椎麻酔7例増加、局所麻酔5例減少している。

内訳では悪性腫瘍手術が胃癌1例 大腸癌4例、乳癌6例で合計11例であった。

ヘルニア根治術が19例と前年度より症例数が増加した。

その他腹腔鏡下虫垂切除術が1例、腹腔鏡下胆嚢摘除術が13例であり、腹腔鏡下手術は良性疾患・悪性疾患合わせて19例であった。腹腔鏡下の手術症例数は年々増加の傾向にある。

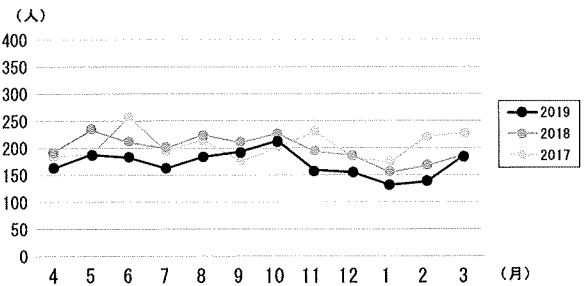
手術以外にも悪性疾患の化学療法を内服あるいはC Vポート挿入の上での点滴を主に外来で行っている。一部症例では入院での化学療法も行っている。I Cポートは近年橈側皮静脈からの挿入も行っている。

特に訪問診療にも力を入れており、三角、大矢野地区での訪問診療を近隣の訪問看護ステーションと協力しながら、行っている。

また、外科疾患に限らず、循環器内科、脳神経外科、整形外科の疾患について他院からのリハビリ目的の転院症例や、救急外来からの入院症例等について診療科を越えた入院治療に協力しており、神経内科や呼吸器科等の済生会熊本病院からの応援診療科と協力しながら、入院診療を行っている。

三角および大矢野地区については悪性疾患の在宅緩和療法の方を中心に少ない患者数となっているが、訪問診療に取り組んでいる。

外来患者数推移



入院延患者数推移

